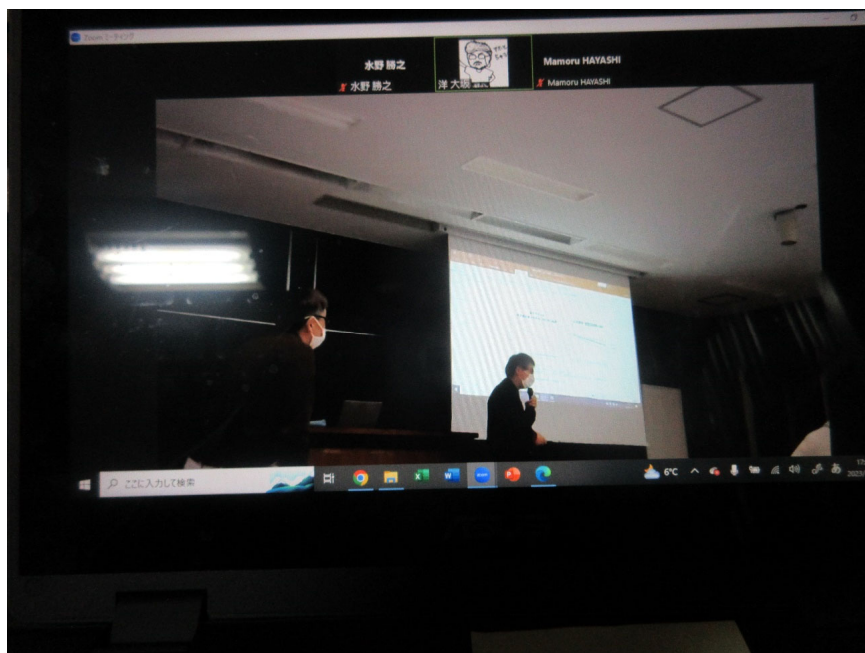


## 「復興の経済学—釜石の復興—」

新里泰孝

1. はじめに 私の注目点：平野医院・人口・総生産
2. 釜石の震災  
(1) 被災状況 (2) 「釜石の奇跡」
2. 復興計画
4. 復興の経済学  
(1) 視点 (2) 市場の経済理論
5. 釜石の経済復興  
・震災前の経済・人口構成と労働状態・民間資本ストックの毀損・各産業の総生産の推移・労働市場・所得
6. 課題と政策  
・課題・政策
7. アクティブラーニング  
(1) 質問力 (2) 第13回の課題



## 講義概要

1 では釜石市にある平野医院の定点での変化が説明されました。被害後、建て替え後、および周りの変化などが写真で紹介されました。

2 では震災後の人口減少の統計があげられ 10 年間で 8000 人も市民人口減が示されました、しかし、後の 5 の「釜石の経済復興」では復興事業のため 2015 年には失業者数が半減している事実も示されました。

3 では、市長にお話を聞きながら、釜石の復興が「みなが納得する」形で行われたこと、そしてそれが成功につながったことが伝えられました。

4 では、市内総生産の定義が示され、その計算式も提示されました。5 では、それに沿って、釜石市の震災前と震災後の市内総生産、付加価値額、各産業の生産額などの推移が産業ごとの推移の説明を含めながら示されました。

7 のアクティブラーニングに関しては授業の最初の段階で授業内容に対して質問することを受講者に求めました。グループで授業内容についての疑問点を考えることを課題としました。特に、「よい質問」「悪い質問」の存在を明示し、「よい質問」を行うことの重要性を説きました。授業後、学生たちから、「震災前から釜石は人口が減少している。その理由は何か。」「人口増減には社会増減と自然増減がある。分けて考えるべきではないか」との重要な観点からの質問が飛び、新里会員の求めた授業が完結しました。

東日本大震災の個々の地域の被害の映像はひんぱんに見ましたが、各地域の復興が経済学的視点でどのように進んでいるかについて知る機会はほとんどありませんでした。

「計画通りには進んでいないかもしれないが、今日説明したように釜石市の復興はかなり進んでいる。しかし、2017 年をピークに復興特需が終わると産業は停滞し、就業者が減少しており、自律的復興・発展には至っていない。」という新里会員の言を彼の示した経済的資料やデータがしっかり物語っていました。復興が進んでいることと課題を受講生も経済学的視点で理解できたのではないのでしょうか。